

ワークショップ

地盤と建物の動的相互作用の現象解明と耐震設計

－ S S I 研究の現状と 2016 年熊本地震の検討事例－

＜主催＞ 日本建築学会 構造委員会 振動運営委員会 地盤基礎系振動小委員会

本小委員会では新たな刊行物「(仮) 地盤と建物の動的相互作用の現象解明と耐震設計」の出版を予定している。本ワークショップでは、現時点までの活動成果をとりまとめ、動的相互作用の現象と地震被害、設計・解析、実験・観測の大きく3つの視点から、S S I 研究の現状と課題について報告するとともに、フロアからの意見を徴収したい。あわせて、最近のトピックとして、2016年熊本地震における非線形動的相互作用や浅部地盤応答に関するこれまでの検討事例について報告し、この地震で見えてきた課題等について議論する。

日時：2017年2月15日(木) 13:30～17:20

会場：建築会館会議室（東京都港区芝 5-26-20）

内容（各講演の題目等は変更されることがあります）

司会：木村 匠（清水建設）

1. 開催挨拶 13:30～13:35 : 宮本裕司（振動運営委員会主査／大阪大学）
2. 主旨説明 13:35～13:40 : 護 雅史（地盤基礎系振動小委員会／名古屋大学）
3. S S I 研究の現状 13:40～15:00
 - 3-1 動的相互作用の現象（理論）と地震被害 : 東城峻樹（竹中工務店）
 - 3-2 設計・解析に見る動的相互作用 : 柏 尚稔（国土技術政策総合研究所）
 - 3-3 実験や観測に見る動的相互作用 : 柴田景太（大成建設）
 - 3-4 動的相互作用に関する Q&A 集 : 藤森建史（大林組）

休憩 15:00～15:10

4. 2016年熊本地震における SSI に関する話題提供 15:10～16:40
 - 4-1 益城町中心部の建物基礎・地盤被害と微動特性 : 新井 洋（建築研究所）
 - 4-2 益城町に建つ建物の非線形相互作用と杭応答 : 宮本裕司（上掲）
 - 4-3 益城町役場の被害状況と地震時挙動の推定 : 護 雅史（上掲）
5. 質疑・討論 16:40～17:10
6. まとめ 17:10-17:20 (調整中)

記録：吉田洋之（東電設計）

定員：60名（事前申し込み）

参加費：日本建築学会会員 3,000円、会員外 4,000円、学生 2,000円 *資料代 2,000円含む